

製品名: TRAF6 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21044**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:100-1:500,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:60kD;Observed MW:60kD

抗原情報

遺伝子名	TRAF6
別名	TRAF6;RNF85;TNF receptor-associated factor 6;E3 ubiquitin-protein ligase TRAF6;Interleukin-1 signal transducer;RING finger protein 85
遺伝子 ID	7189.0
SwissProt ID	Q9Y4K3
免疫原	ヒト TRAF6 の合成ペプチド

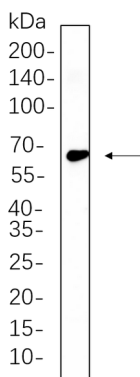
背景

細胞局在:細胞質。細胞質、細胞皮質。核。脂肪滴。一部の悪性 B 細胞リンパ腫細胞株の核、および休止期と活性化 T リンパ球と B リ

ンパ球の核に見られます。点状の核小体タンパク質複合体に見られます。ユビキチン化は細胞質で、SUMO化は核で起こる可能性があります。RSAD2/viperinはこれを脂肪滴にリクルートします（類似性による）。...TNF受容体関連因子6 (TRAF6) Homo sapiens この遺伝子によってコードされるタンパク質は、TNF受容体関連因子 (TRAF) タンパク質ファミリーのメンバーです。TRAFタンパク質は、TNF受容体スーパーファミリーのメンバーと関連し、シグナル伝達を媒介します。このタンパク質は、TNF受容体スーパーファミリーのメンバーとToll/IL-1ファミリーからのシグナル伝達を媒介します。CD40、TNFSF11/RANCE、IL-1などの受容体からのシグナルは、このタンパク質によって媒介されることが示されています。このタンパク質は、IRAK1/IRAK、SRC、PKC ζ などの様々なタンパク質キナーゼと相互作用し、異なるシグナル伝達経路間のリンクを提供します。このタンパク質は、炎症性サイトカインにตอบสนองしてI κ Bキナーゼ (IKK) を活性化するNF- κ B経路におけるシグナル伝達因子として機能します。このタンパク質は、ポリユビキチン鎖の形成を触媒するユビキチン結合酵素であるUBE2N/UBC13およびUBE2V1/UEV1Aと相互作用し、

研究分野

画像データ



ラット脳全細胞ライセートを10% SDS-PAGEで分離し、膜をTRAF6ウサギモノクローナル抗体(1:1000)でプロットングした。抗体の検出にはHRP標識ヤギ抗ウサギIgG(H + L)抗体を用いた。